

平成24年大槌町成人式を開催しました



会場に駆けつけた恩師からの力強いエール



先輩たちへ音楽のプレゼント 大槌高校吹奏楽部



友達との再会で笑顔の新成人たち

平成24年大槌町成人式は、1月8日（日）、大槌町城山公園園体育館において開催され、120名を超える新成人の皆さんが参加しました。

成人式は、2部構成で行われ、第1部の式典では、成人者代表として、阿部将貴さんが、成人するにあたっての抱負を述べました。

第2部のアトラクションは、新成人の代表者がメンバーとなる、成人式実行委員会の進行で行われ、担任の先生からのビデオレターや、卒業アルバムからのスライドショーが披露されました。また大槌高校吹奏楽部による演奏もあり、高校生たちが先輩方の門出を祝福しました。ビデオレターの後には、サプライズゲストとしてかつての恩師がステージに登場。それぞれ指導していた頃のエピソードを語り、最後には教え子達へエールを贈りました。

震災を乗り越え集まった仲間と、絆を再確認した新成人の皆さんの顔にはこれからの人生への決意とふるさと復興への願いがあふれていました。



新成人代表あいさつ 阿部 将貴さん

本日、記念すべき成人の日を迎えた私達のために、困難を極める中、このような盛大な式を催していただきありがとうございます。また、御来賓をはじめ多くの皆様には、本当に御多忙な中御臨席くださり、お祝いと励ましのお言葉をいただきましたことに、成人者一同を代表し、心から感謝申し上げます。

去る2011年3月11日、未曾有の大災害が大槌町を襲いました。町は一瞬にしてその姿を変え、千年に一度といわれる大津波は、私達からあまりに多くの大切な人や物を奪い去りました。

しかし、そんな大津波も奪い取ることができなかったものがあります。それは、大槌人としての誇りや、大槌を愛する気持ちです。

この気持ちは、震災にあっても一ミリも揺らぐことはなく、むしろ日に日に強くなるばかりです。

今まで私達は、地域の方々や先生方、家族や友人、そして大槌の豊かな自然など、ふるさとの全てにお世話になり、育まれ、生かされてきました。そのような大きな愛に包まれながらも、思えば何も恐れるものもない、多感で生意気盛りの時期とはいえ多くの迷惑もかけてきました。そのたびに、多くの励ましや適切な導きを受け、支えられ、今この晴れの舞台に立つことが出来ているのだと実感しています。

今こそ大槌に恩返しをする時だと思えます。これから先、このふるさとの地にあっても、遠く離れたところにあっても、それぞれの場所で自分のやるべきことを見出し、努力を怠らないこと、そしてふるさとを想う気持ちを忘れないことこそが、私たち新成人の義務であり、また、大槌の復興への自分の役割を見いだす足掛かりになると信じています。

私には、今日この日、この場に一緒に立ちかかった親友たちがいます。あの日、彼らは別れの言葉を告げることもなく、空の彼方高くに、遠い海の果てに旅立ってしまいました。いつもふざけた様に見えて、実は大切な人の為に必死で頑張っている彼らでした。彼らとはもう二度と会うことはできませんが、友人たちが集まると、彼らと共に過ごした楽しい日々の思い出に話が尽きる事はありません。そして、その話は、私達を笑顔にさせ、頑張る勇気を与えてくれます。彼らは私たちの心の中にちゃんといます。「彼らの分まで必死で生きていく」なんてカッコつけたことを言うと、頭をたたかれそうです。彼らだけでなく、私達につながる全ての人たちの優しい顔が、空からそっと見守っていてくれることを思い、今まで通り、共に生きていきます。

最後になりますが、成人の日を迎えたとはいえ、まだまだ至らない点が多い私たちです。本日ご臨席の皆様をはじめ、地域の皆様には引き続き御支援、御指導頂きますようお願い申し上げます、新成人を代表しての言葉とさせていただきます。



スライドショーで自分たちの中学生時代を振り返る



約120名が式に参加した